

<中部支部>リコチャレ 2022

「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」

日 時:2022 年 8 月 6 日(土) 13:00~15:30

場 所:DAIWA 防災学習センター(大府市防災学習センター)

参加人数:22 名

報告:青木治子(中部支部)

内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会が主催する「夏のリコチャレ 2022 理工系のお仕事体感しよう!」の登録イベントとして、「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」を大府市ならびに愛知工業大学と共催で開催しました。

1. イベント概要

- ◆主 催:(一社)土木技術者女性の会 中部支部
- ◆共 催:大府市、愛知工業大学 工学部土木学科 鈴木研究室
- ◆主なプログラム:1. はじめに
 2. 水害・地震コーナー体験
 3. 作ってみよう!ためしてみよう!紙ぶるる
 4. ハザードマップを見てみよう



【DAIWA 防災学習センター】

2. 内容および感想

(1)はじめに

イベントの趣旨や、土木について、会の紹介、イベントテーマについて説明を行いました。

総勢、22 名の参加者を 2 班に分かれてイベントの開始です。



【冒頭説明】

(2) 水害・地震コーナー体験

水害発生時の状況を時系列で追った映像や、地震発生時には家の中がどうなるのかなどについての映像を全員で視聴した後、施設体験を行います。



【水害発生映像視聴】



【地震発生時映像視聴】

○水害体験

水害体験コーナーでは、冠水道路をボールにて再現した“ボールプール”での歩行体験や、水圧により車のドアが開かなくなる体験をします。これらの施設では、水害の怖さを体験できました。

開催日の数日前には、愛知県内でも線状降水帯による水害が発生してました。この、“ボールプール”は子供たちにとっては楽しい遊び場でしたが、遊びを通して少しでも水害の怖さを知ることができたのではないのでしょうか。



【冠水道路歩行体験】



【水圧体験車体験】

○地震体験

地震体験コーナーでは、実際に揺れを体験する地震体験ではなく、地震によって家具がどう動くのか、倒れてくるのかを、振動させて実験をします。地震対策を行う前と行った後で、どのように変化するのも勉強でき、家具の固定をすることで、命が守れることを改めてかんがえさせられました。

緊急地震速報のアナウンス音が流れてからの振動実験は、さながら本物の地震を間近で見ているような臨場感があり、参加者たちは熱心に説明を聞いていました。



【地震体験ルームでの振動実験(地震前)】



【振動実験(地震発生後)】

(3) 作ってみよう!ためしてみよう!紙ぶるる

紙ぶるるでは、鈴木森晶教授の楽しいトークと共に、学生やスタッフのもお手伝いしながら、個々にペーパークラフト作りをします。細かい作業もある中、参加者全員、組立てることができました。

組立て後は、重し(クリップ)を付けたり、筋交いを配置したりして、振動実験を行い、補強の有無の違いに驚いていました。地震に強い建物ってどんな建物?自分の家は大丈夫かな?

「皆さんのおうちにも、“筋交い”ありますよ!壁、めくってみてください。いや、やっぱり家を壊したらダメなので我慢しましょう。」という先生の説明、実際に壁をめくった参加者がいなかったかちょっとだけ不安です(笑)



【鈴木教授による模型組立】



【学生と一緒に組み立て】

(4) ハザードマップを見てみよう

最後は、ハザードマップの説明とその使い方や、液状化とは何かな?という勉強をします。液状化の科学おもちゃ“エッキー”を使用した液状化実験に参加者は目を開き興味津々でした。



【ハザードマップ説明】



【エッキーによる液状化実験】

(4) その他

開始前や休憩時間などは、作業服、消防服、空調服など試着体験です。参加者の子どもには作業服より消防服が人気だったのは少し残念ですが、消防服よりもかっこいい作業服を考えないと!反省です。

一方、保護者の方には空調服が人気でした。「工事現場の人たちが着てて、気になっていたんですが、こんなに涼しいんですね。」と、言っていました。



【消防服を着ての記念撮影】



【作業服試着】

3. おわりに

3年ぶりに、中部支部ではリコチャレを無事に開催することができました。

参加者からは、「地震の怖さに気づいたから、家族で話をして、危険を避けたい。」「体験をして、災害の怖さを感じて、これから災害について考えたいと思います。」「土木の仕事について詳しく知りたいです。」と、様々な感想をいただきました。

開催にあたり、大府市の皆様ならびに DAIWA 防災学習センターの伴館長はじめスタッフの皆様、愛知工業大学の鈴木森晶教授、学生の皆様、多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。



【学生手作りのマンションタイプ紙ぶる】



【集合写真】

4. おまけ

参加者とスタッフには、大府市よりお土産品として“非常食”をいただきました。今後の災害に備えて、食べ慣れておきます。

また、開催場所である DAIWA 防災学習センターの近くのケーキ屋さんは美味しく、スタッフ一同、購入して帰宅しました。一日の疲れが取れたでしょうか？

来年度以降も引き続き開催できるよう、努めてまいります。



【非常食】



【ブルーベリーのミルフィーユ】